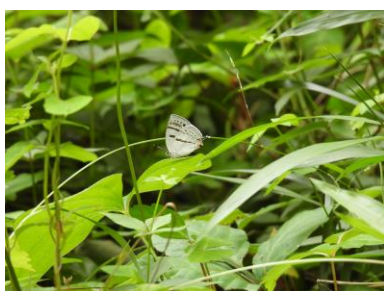


〈こもれびの森〉

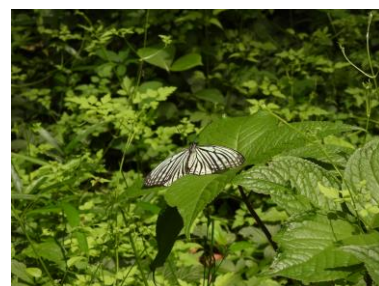
久しぶりに“こもれびの森”を歩いた。20年ほど前、この近くの小学校に勤務していた際、子ども達を連れてよく遊びに来た（いや、お勉強に来た）。この森も他と同じくナラ枯れが広がっておりあちこちで伐採されたあとが痛々しい。それでもこもれびが差し込む森は気持ちよく、ただ歩いているだけで心も体も満たされる。森の時間に合わせてのんびり歩くと生き物たちや花が目に入るようになる。この森があるから生きていられる花や虫たち、今日もヘルメットをかぶったボランティアの方が森の整備をしていたが、人の手によって守られている森であることをつくづく感じる。森の豊かさはそのまま人の暮らしの豊かさに直結することを、この森を歩き、五感で感じると分かってくる。ボランティアの方に感謝するとともに、これからもこの森を訪れ見守っていきたいと思う。



〈ミズイロオナガシジミ〉



〈ダイミョウセセリ〉



〈アカボシゴマダラ〉



〈ユキノシタ〉



〈ヤマトシリアゲ〉



〈カナヘビ〉



〈切り株ビンゴ〉



〈森の番人〉



〈ウグイスカグラ〉